



市内の田植えは例年、5月の連休から中下旬の長期間に及び、そのため水稲の生育状況には、大きな差がみられます。栽培管理は各圃場の生育に応じて行いましょう。

☆今後の管理ポイント

追肥

追肥は生育中期の稲の栄養状態をよくし、籾数の確保、有効茎歩合の調整を図るための施肥です。

追肥の施肥時期

各品種の追肥施用時期の目安は表1のとおりです。注意点として、これからの時期は、気温が高くなり、秋にすぎ込んだ稲わら等の有機物の分解がすすむ時期となりますので、過剰分げつにならないように、追肥の施用にあたっては、水稲の栄養状態をよくみて施用して下さい。また、早生品種で5月25日以降に田植（遅植え）をしたものについては、基肥を施用からの期間が短いいため追肥は省略しましょう。

☆水管理と中干し

この時期の水管理は、やや浅水（水深3cm程度）とし、田面を露出させないように保ちましょう。

茎数が目標茎数の8割（約16本

前後）になれば中干し作業開始の目安です。

中干し作業の効果

中干しは、田の水を抜いて田を乾かす作業です。なぜ中干し作業をするのかというと、水稲は水分があるといくらでも分げつし増えていきます。増える方が良いと思いがちですが、増えすぎると米粒が小さくなり、時には米粒が籾のなかに入っていないことがあります。そういった過剰分げつを抑えるため、中干しは重要な作業になります。

中干しの程度・期間

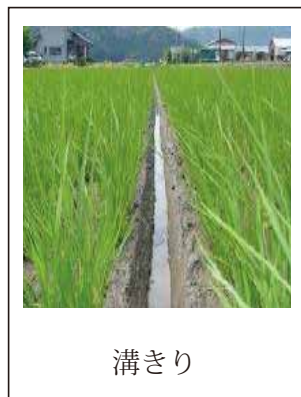
中干しの程度は、田面に小さなひび割れが入り、足が沈まない程度までが目安です。期間としては7〜10日間程度を目安に中干し作業を実施して下さい。



中干し後は、間断かんがいを2〜3回繰り返し、もとの湛水状態に戻しましょう。

溝切り作業

中干し作業開始時に溝切りを行うと、中干し以降の入排水管理を速やかに行うためにも有効です。溝の間隔としては、2.5m〜3m（8条〜10条）間隔で溝切りを行うとよいでしょう。



溝きり

表1 追肥施用時期の目安（一般高度化成 488 単位 kg/10a）

品 種	移植時期	追肥	追肥施用時期
コシヒカリ	5月上中旬	15	6/5〜10
キヌヒカリ	5月上中旬	10	6/5〜10
日 本 晴	5月上中旬	20	6/20〜25
秋 の 詩	5月上中旬	10	6/20〜25
滋賀羽二重糯	5月上中旬	10	6/20〜25

※水稲の栄養状態を確認して施用の判断をして下さい。また、基肥一回タイプの肥料「楽しよう君」を使用した場合、追肥は必要ありません。

集落・地域の話し合いを通じて農地中間管理機構を活用しませんか？



●リタイアするので農地を貸したい

機構に農地の貸付を申出てください。お借りした農地は機構が借受希望者に転貸します。

※機構は農地として著しく困難であるものは借受できません。

●新規就農するので農地を借りたい

機構から農地を借受けることができます。

平成30年度借受希望者募集への応募・貸付希望申込書の提出期限は

1回目 平成30年5月1日〜6月29日まで **2回目 平成30年9月25日〜11月9日まで**

お問い合わせ先

滋賀県農地中間管理機構（Tel.077-523-4123）もしくは 粟東市役所農林課・J A 粟東市農産課・大津南部農業農村振興事務所農産普及課へお問い合わせください。

野菜づくり

今月は
夏野菜の
梅雨時の
対策



皆さん、夏野菜の栽培は順調でしよつか？生育が順調であっても作物が病気になるってしまうと収量や品質に大きく影響してきます。今回は、夏野菜の病気の種類と対策についてご説明します。

■病気の原因

野菜の病気の原因はカビ、細菌、ウイルス、微生物や害虫などが挙げられます。日本のような高温多湿の気候は植物の病気が発生しやすい、これからの梅雨時期は特に注意が必要です。

■病気になっても慌てない！

慌てて病気の対策をする前に、一呼吸おいて、まずは野菜がどの病気に罹ったのかを見極めることが重要です。どの病気になっているのかを見極めてから適切な対策をおこないましょう。

■病気の見極め方と対策

野菜の病気は特定の科目に決まって発生することが多いです。各科目で発生しやすい病気と対策をご紹介しますので参考にしてください。

☆ウリ科(キュウリ、スイカ、カボチャ、ズッキーニなど)

・うどんこ病

うどんこ病の症状は、初期段階では野菜の葉にうどんの粉のような白い病斑が発生し、最終的に全体に広がっていきます。放っておくと病原菌が増殖し生育不良や果実不良、収穫量が減少します。



うどんこ病

対策

- ・過度の肥料の施用を避ける
- ・圃場の風通しを良くする
- ・病気が発生した葉や枝を圃場外に撤去する
- ・薬剤防除(トリフミン水和剤)

☆ウリ科(キュウリ、スイカ、カボチャ、ズッキーニなど)

・べと病

べと病は、多湿で気温が20℃前後で発病しやすい病気です。黄白色又は黄白色の病斑が発生して葉の裏側にすす状のカビが発生するのが特徴です。放っておくと病斑の中央部が黒色に変色して弱い株は枯死してしまいます。



べと病

対策

- ・多雨時期の過剰な灌水を避ける
- ・落花・落葉はこまめに取り除き株元をきれいにする
- ・過剰な追肥を避ける
- ・薬剤防除(ダニール1000)

☆ナス科(ナス、トマト、ピーマンなど)

・青枯病

青枯病は、薬剤治療が殆ど効かない細菌が原因で罹る病気です。特徴としては、葉が青みを持ったまま萎れ、短期間で症状が悪化します。そのまま放っておくと株全体が茶色くなって最後は枯死します。



青枯病

対策

- ・圃場の水はけをよくする
- ・降雨時の収穫作業を避ける
- ・発病した株は根と周辺の土と一緒に除去する

☆ナス科(トマトなど)

・尻腐れ病

尻腐れ病は、野菜や果物の先端部分が黒くなって腐ってしまう症状のことで、病原菌などによる病気などではなく、主に石灰(カルシウム)不足による生理障害です。尻腐れ病が発生したからといって、必ずしも株自体が駄目になってしまふというわけではありません。



尻腐れ病

原因

- ・定植の際、苦土石灰が施用されていない
- ・灌水量が少なすぎる
- ・追肥に窒素成分が多く施用した

対策

- ・カルシウムを多く含んだ追肥(苦土石灰など)を施用する
- ※農業の使用にあたっては、お手持ちの農業のラベルの記載内容に従ってください。

今月のレシピ



サトイモのみそ煮
ショウガ風味

★材料(1人分)

サトイモ 4個	煮汁	
おろしショウガ	...大さじ1	かつおだし1カップ
		みりん1/2カップ
		しょうゆ大さじ1
		砂糖大さじ1と1/2
		西京みそ大さじ2

★作り方

- ①サトイモは厚めに皮をむき、柔らかくなるまで下ゆでしておく。
- ②鍋に煮汁の材料を全て入れ強火にかけ、沸いたらサトイモを入れ絡めていき、仕上げにおろしショウガを入れて出来上がり。

★ポイント

焦げやすいので、鍋を動かしながら煮汁を絡めていく

レシピ考案/茨城県笠間市にある「キッチン晴人(ハレジン)」のオーナーシェフ・永井智一(ながい・ともかず)さん